

資料番号	7
------	---

令和5年5月29日
課名 農林水産局農業技術課
担当者 課長 柴山
内線 3556

県立農業技術大学校の学生確保及び就農状況について

1 要旨・目的

県立農業技術大学校（以下「大学校」という。）における令和5年度の学生の確保状況と令和4年度卒業生の就農状況を取りまとめたので報告する。

2 現状・背景

農業関連高校との連携等による学生確保に向けた募集活動を行うとともに、在学生については、農業法人へのインターンシップや模擬経営実習等を実施し、次世代を担う農業者の育成に取り組んでいる。

3 概要

(1) 入学生の推移（令和3年度～令和5年度実績） （単位：人）

学生内訳	年度別入学生数の推移			（参考） 令和5年度在校生内訳		
	R3	R4	R5			
一学年定員 (a)	40			1年生	2年生	合計
入学生数 (b)	27	18	25	25	16	41
農業関連高校出身	10	9	10	10	9	19
農業関連高校以外高校出身	13	6	12	12	5	17
一般社会人等	4	3	3	3	2	5
（うち、県外出身）	(1)	(3)	(7)			
入学定員充足率 (%) (b/a)	67.5	45.0	62.5			
非農家率 (%)	77.8	88.9	66.0			

(2) 入学生アンケート結果（令和2年度～令和5年度実績）

ア 大学校を知るきっかけ（複数回答可） （単位：人）

入学年度	R2	R3	R4	R5
人から聞いて（高校の先生、家族等）	22	24	16	20
インターネット（大学校HP等）	4	8	8	12
高校主催の行事（進路ガイダンス等）	4	4	6	2
大学校主催の行事（オープンキャンパス等）	9	6	5	10
その他（広報誌等）	2	1	3	3

イ 受験を決める際にもっと知りたかったこと（複数回答可）

（単位：人）

入学年度	R 2	R 3	R 4	R 5
学生生活	9	12	10	15
学習内容	5	14	7	7
卒業生・在校生の声	9	7	10	15
施設（寮）	4	5	3	9
施設（農業用施設）	3	7	3	2
学費免除等支援制度	0	3	1	2

(3) 卒業生の進路（令和2年度～令和4年度実績）

（単位：人）

卒業年度	R 2	R 3	R 4
卒業生数 (a)	24	23	25
就農小計 (b)	16	19	20
自営	4	3	1
農業法人等	11	13	15
就農に向けた研修	1	3	4
農業関連就職（J A、農機具会社等）	5	1	3
一般企業就職	2	3	2
その他	1	0	0
就農率 (%) (b/a)	66.7	82.6	80.0

4 課題・効果の分析

令和5年度の入学生は、例年並みに確保した。その要因として、前年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限がなかったことで、多くの高校生等がオープンキャンパスなど大学校主催行事を体験できたことが挙げられる。

また、「インターネット」を活用して大学校の情報を得る入学生が増えており、SNSでの発信をしたことも県外出身者が例年に比べ増加した要因のひとつと分析している。

令和4年度の卒業生は、就農率80%と前年並の高い水準であった（令和3年度の全国平均54%）。その要因として、近年、農業法人でのインターンシップなど農業現場における実習等を充実させたことにより、法人など企業経営体へ就職就農する学生が増加したことが挙げられる。

5 今後の対応

学生確保については、引き続き、県教育委員会と連携し、農業関連高校以外の高校も含めた学校訪問により大学校の情報を提供するとともに、オープンキャンパスへの参加を促す。

また、3(2)イ「受験を決める際にもっと知りたかったこと」を参考に、インターネットでの情報を充実させ、学生の確保に努める。

卒業生の進路については、引き続き、農業法人等雇用就農ガイダンスの実施や先進経営体実習などの機会を活用し、企業経営体とのマッチングによる雇用就農等を推進する。